

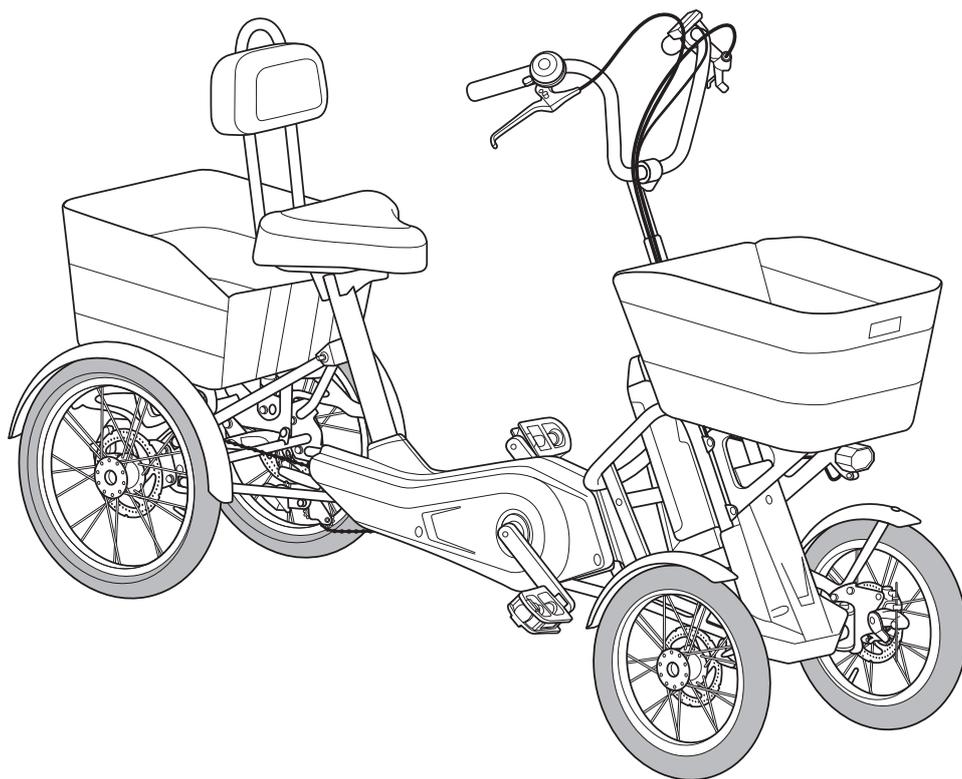
電動アシスト自転車

遊歩 リベルタ

SUPPORT YOUR ACTIVITIES

取扱説明書

SC-01



このたびは、セリオ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に、「安全上のご注意」(4～11ページ)を必ずお読みください。
- 本紙には保証書(P38)も含まれております。
「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、大切に保管してください。

はじめに

- お買い求めいただいた本製品は、電動補助(アシスト)システムが付いた四輪自転車です。本書をよくお読みの上、安全運転を心がけてご使用ください。
- 四輪自転車は転倒しにくい構造になっていますが、カーブ走行時や路面の傾き、凸凹など使い方によってはバランスを崩し転倒するおそれがあります。
- 本製品は一般乗車用として設計されています。荷物運搬などの業務用としてのご利用はできません。
- 本製品は国内の交通法規に適合しており、国外でのご利用は想定していません。
- 必ず、販売店で防犯登録を行ってください(法令で義務付けられています)。
- 製品を他の方に譲渡される場合は、この取扱説明書を一緒にお渡しください。
- 本書のイラストはイメージ図を使用していますので、一部実車と異なる場合があります。
- 本製品は道路交通法上「軽車両」の扱いとなり、一般の自転車と同じ法律を守る必要があります。
- 全ての自転車利用者に対し、自転車乗車用ヘルメットの着用努力義務があります。

1 ご使用の前に

安全上のご注意	4
各部のなまえとはたらき	12

2 乗るまえに

充電しましょう	16
バッテリー残量について	18
乗るまえの点検と調整	20
荷物を載せるとき	26

3 乗りかた

さあ、乗りましょう!	27
------------	----

4 乗り終わったら

駐輪のしかた	29
--------	----

5 必要なとき

お手入れについて	30
注油について	31
運搬・保管・廃棄について	32
故障かな?	33
バッテリーについて	35
仕様	36
保証とアフターサービス	38
お問い合わせ・ご相談	40

本製品は電動補助(アシスト)システムを装備している自転車です。
 本書では、誤った使い方をすると運転者や他の人が死亡や傷害を負うおそれのある事柄について、下記の表示を使って記載しています。これらは安全上特に重要な項目です。
 ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 警告	死亡や傷害を受けるおそれがあるもの
 注意	軽傷や物的損害が発生するおそれがあるもの
	してはならない内容
	必ず実行する必要がある内容

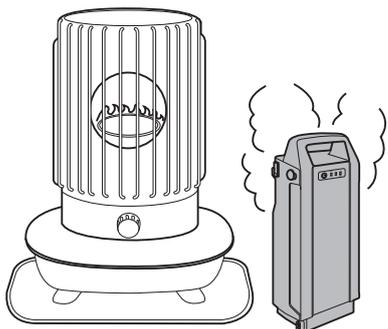
バッテリーについて

✕ 専用のバッテリーのため、他の機種や他の用途には使用しない

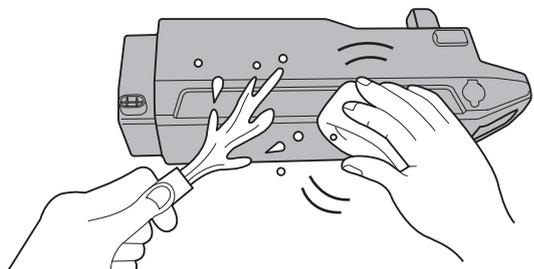
✕ バッテリーを火中に入れたり、加熱しない



✕ バッテリーを熱源の近くに放置しない



✕ バッテリーに水をかけたり、水中にいれない

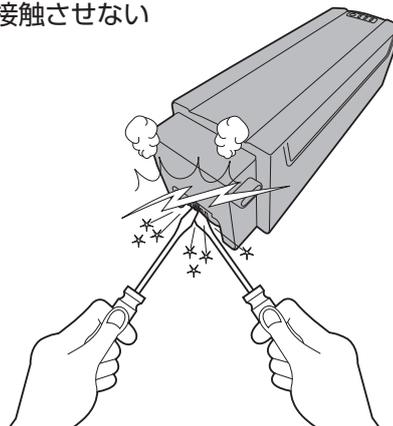


✕ バッテリーを高温になる場所に保管したり放置しない

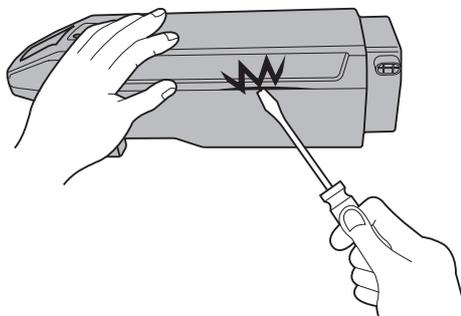
✕ リサイクルバッテリーを使用しない

✕ バッテリーを落下させたり、衝撃を与えたりしない

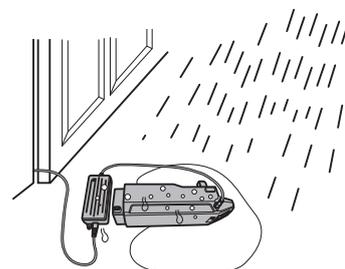
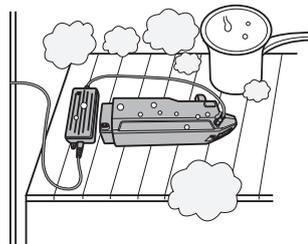
✕ バッテリーや充電器の端子間を金属で接触させない



✕ バッテリーの分解や改造をしない



✕ 浴室など湿気の多い場所や、屋外で雨に濡れる場所では充電しない

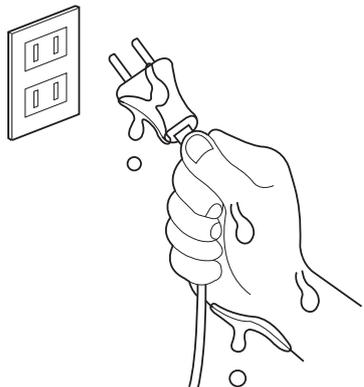


1 ご使用の前に 安全上のご注意(つづき)

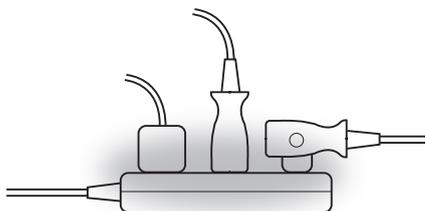
充電機器について

✕ 当社電動アシスト自転車バッテリーの充電機器以外の使用は絶対にしない

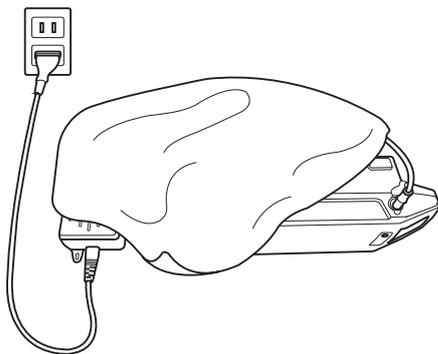
✕ 電源プラグを濡れた手で抜き差ししない



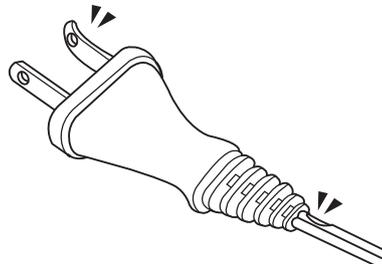
✕ 延長コードの使用や他の電気器具とのタコ足配線はしない



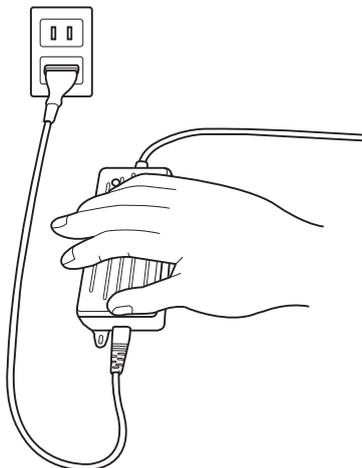
✕ 充電中に周囲にカバーをしたり燃えやすいものを置かない



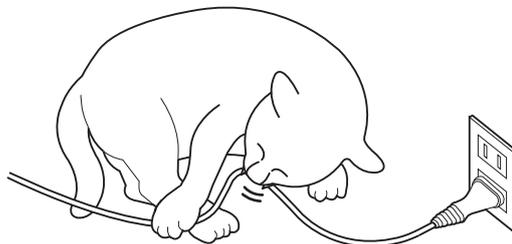
✕ 充電機器のケースやコード、プラグが傷んでいるときは使用しない



✕ 充電中は身体と同じ箇所を充電機器に長時間ふれさせない

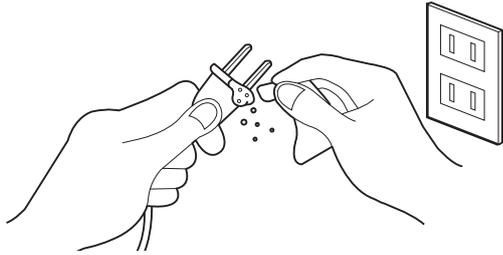


✕ 幼児やペットが触れるところでは充電しない

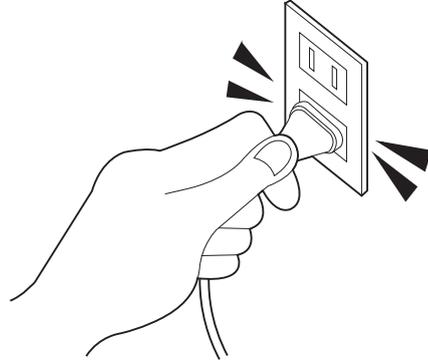


× 電源コードを加工したり、束ねたりしない

! 電源プラグのほこり等は
定期的に取り除く



! 電源プラグは根元まで確実に差し込む

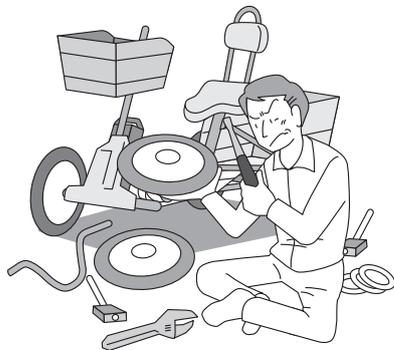


! 充電をしないときは、必ず電源プラグを
コンセントから抜く

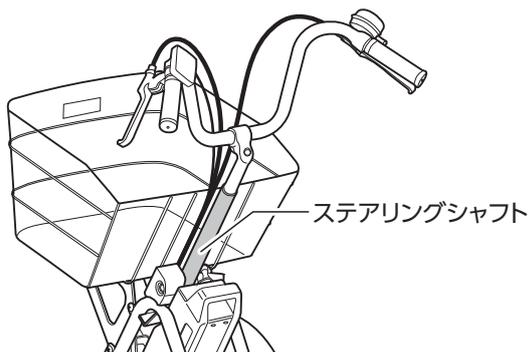
1 ご使用の前に 安全上のご注意(つづき)

自転車本体について

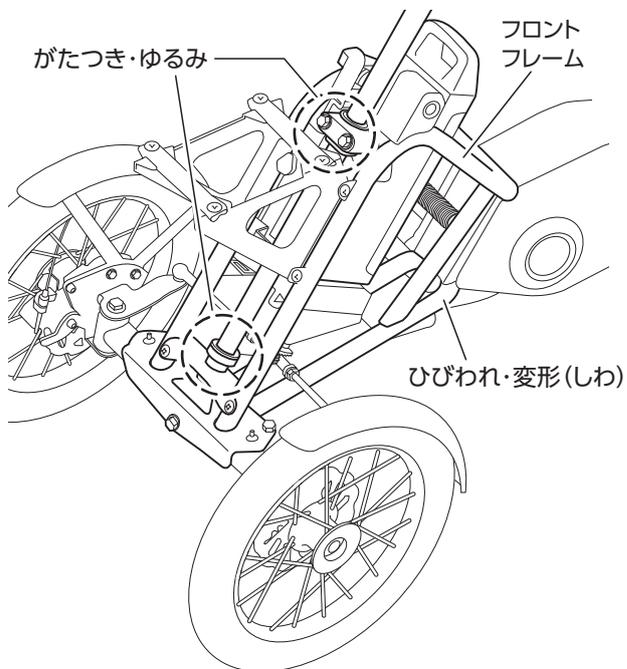
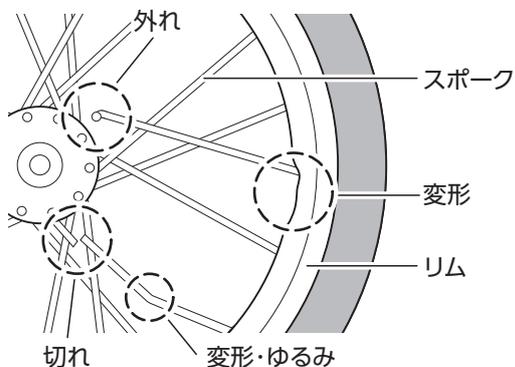
✕ 改造や分解をしない



✕ ステアリングシャフトにひびわれや変形などの異常があるときは乗らない



✕ 各部にがたつきやゆるみ、変形、ひびわれなどの異常があるときは乗らない



! 異常が発覚したら販売店で点検を受ける

自転車に乗る前に

- ✕ 滑りやすい靴や巻き込まれやすい服装で走行しない



- ✕ 雨や風、雪のひどいときには、走行はしない



- ✕ 飲酒時やかぜ薬の服用時、体調が悪いときは乗らない

- ✕ 視界の悪いときは乗らない

! 乗車前には必ず点検する

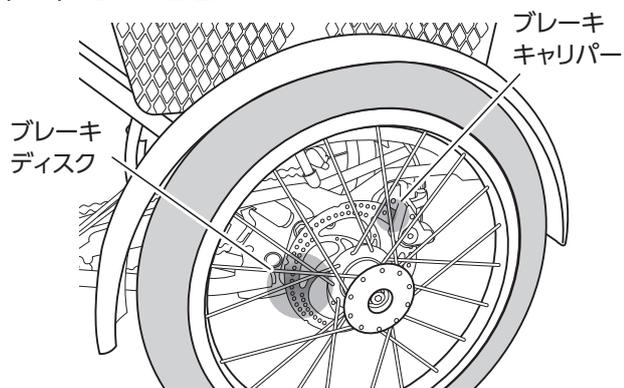
! 走行前にはバッテリーの残量を確認する

! 本製品の特性に慣れるまでは、安全な場所で練習する



保管・整備のしかた

- ✕ ブレーキディスクやブレーキキャリパーに絶対に注油しない



- ✕ 組み立て前の自転車や未調整の自転車には乗らない

- ✕ アシストユニットの分解や注油をしない

- ✕ 純正部品以外を使用しない

! 自転車は水洗いを避け、雨に濡れない場所に保管する

! 1年ごとに販売店にて点検を受ける

! 使用開始2ヶ月以内に販売店にて点検を受ける

1 ご使用の前に 安全上のご注意(つづき)

運転するとき

- × スピードをだしすぎない【8km/h 以下】
(衝突や転倒によるけがのおそれ)
特に下り坂ではスピードがでるので
後輪ブレーキを徐々に掛けて調整する



- × 片手運転や急なハンドル操作など、
乱暴な乗り方をしない



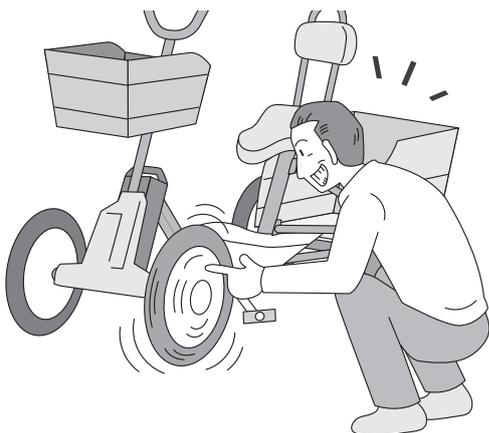
- × 2人以上で乗らない



- × 傘やステッキ等、車体や車輪の近くに
差し込んで走らない



- × 回転している部分に手や足、
物を近づけない



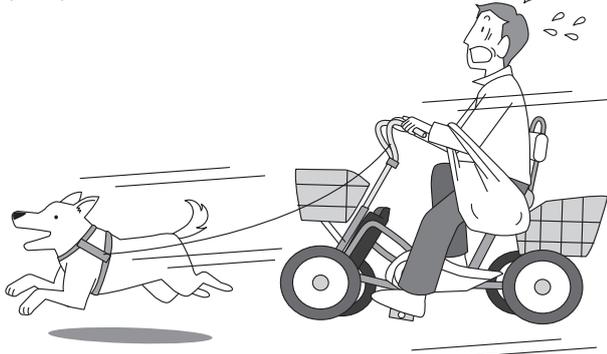
- × 走行中に携帯電話を使用しない



✕ 本製品を走行以外の目的に
使用しない



✕ 手やハンドルに荷物を引っ掛けたり
ペットをつながない



✕ 夜間やトンネル内、霧発生時など
視界が悪い時は、無灯火で乗らない

✕ 並走の禁止

✕ 発進時はけんけん乗りをしたり、
ペダルを強く踏み込み過ぎたりしない

✕ ブレーキ操作は後輪ブレーキから使用し、
前輪ブレーキだけのブレーキ操作はしない

! 斜面の走行はハンドルをしっかりと握り、
急な斜面は避けること

! 異常を感じたときには直ちに
使用を中止すること

! 道路交通法を守り、基本的に車道を
走行すること

! 停車中はブレーキレバーを左右握り、
ペダルから足を下して地面につける



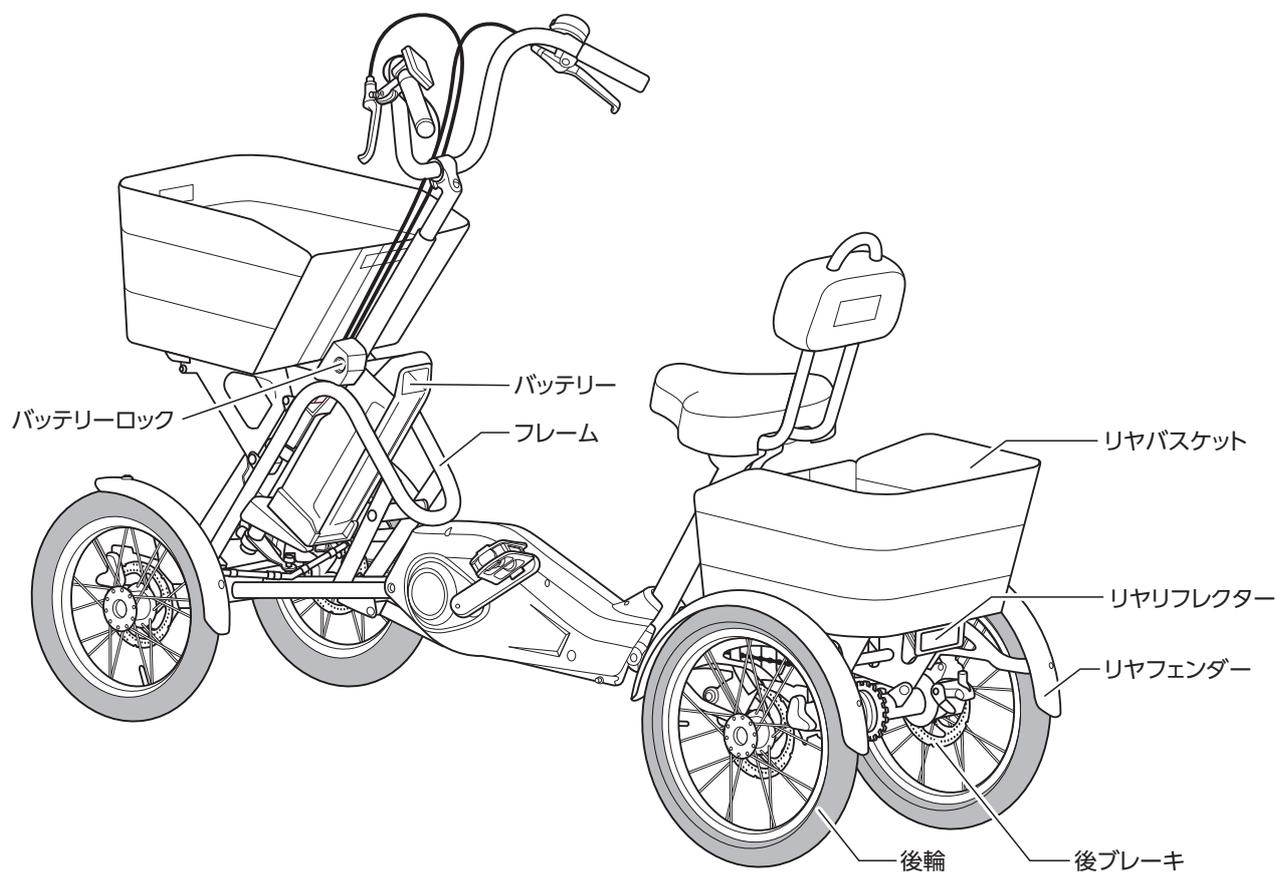
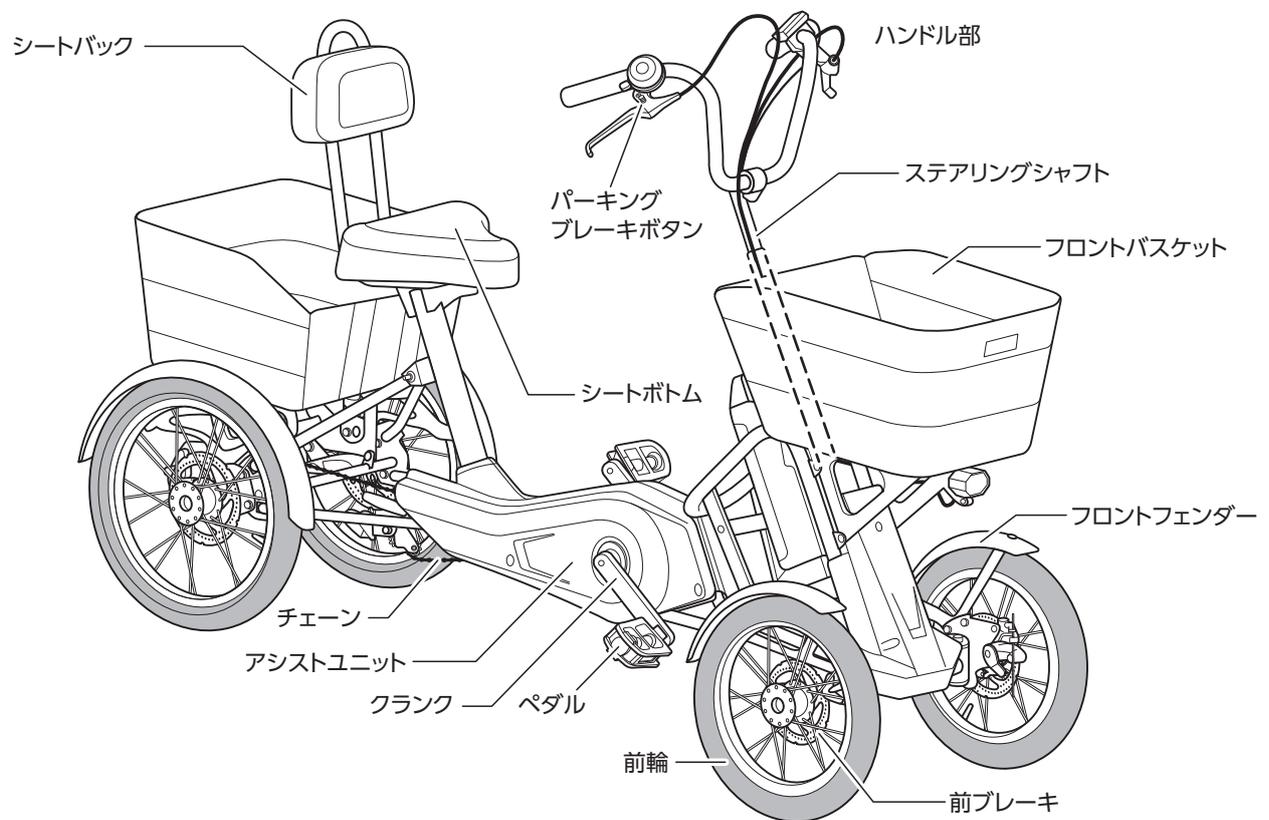
! 荷物を載せるときは積載条件を守り
バスケットに積むこと



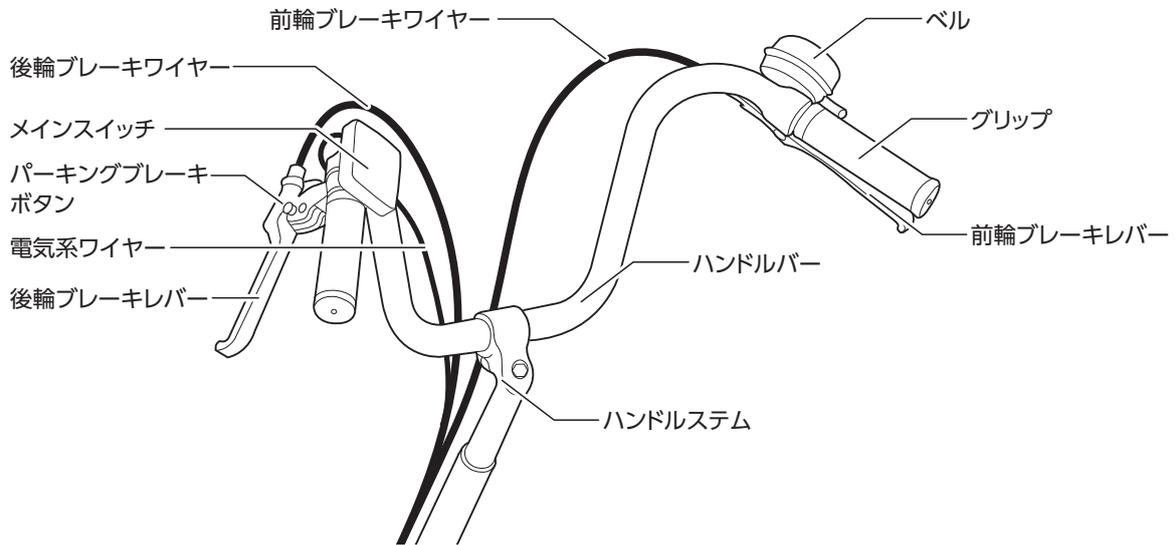
! 凸凹の激しいところや滑りやすいところは
避けて通る



自転車本体

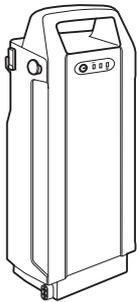


ハンドル部

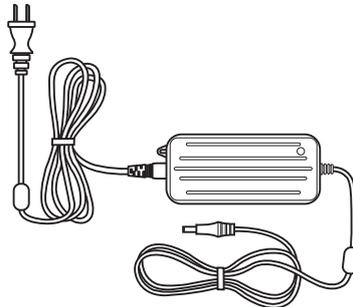


付属品

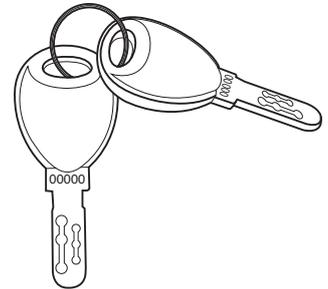
バッテリー



充電器



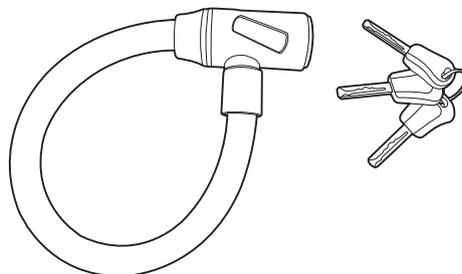
バッテリーロック用キー (2本)



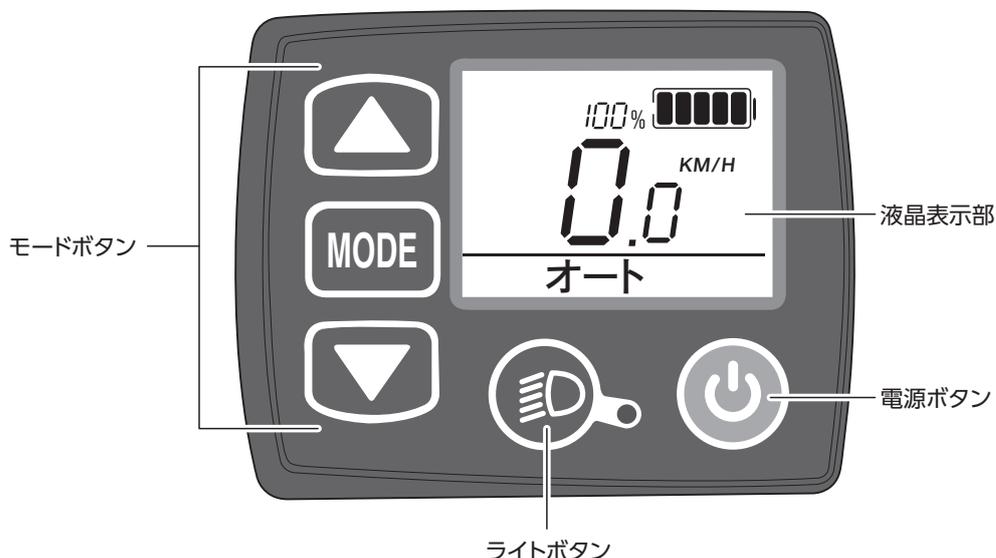
取扱説明書 (本書)



ワイヤーロック + キー (3本)



メインスイッチ



- 電源ボタンを長押しすることで入切の切替ができます。
- 電源が入っていれば、ライトボタンを押すことで点灯・消灯の切替ができます。
- 「MODE」を押すことで、速度 / TRIP (区間走行距離) / ODO (総走行距離) の各メーターを順に切替えることができます。ただし、走行時には自動的に速度メーターに切替わります。
- TRIP メーターをリセットするときはモードボタンの ▲ と ▼ を同時に長押ししてください。

製品型式

防犯登録に必要で、数字と英字で表示しています。

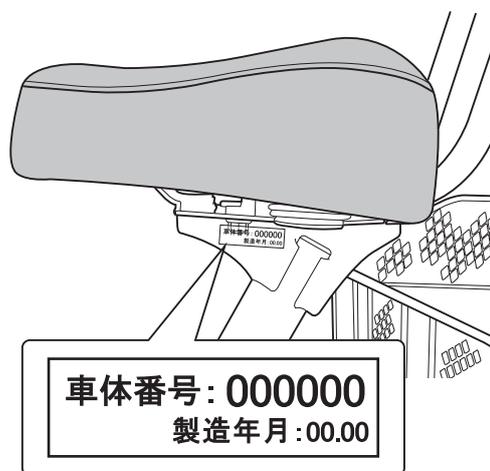
- シート下右側面



車体番号

防犯登録に必要で、数字で表示しています。

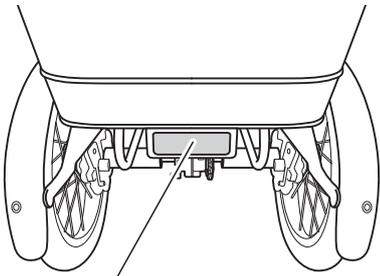
- シート下左側面



お願い

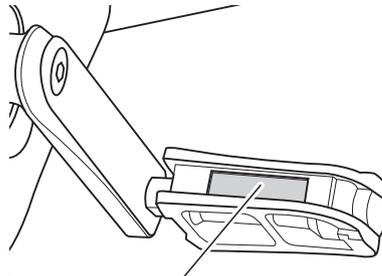
- マークをはがしたり、傷つけたりしないでください。

安全装置



リアリフレクター

後からの光を反射します。



ペダルリフレクター

前後からの光を反射します。

⚠ 警告

- 安全装置は取り外さないでください。
外したまま使用すると、事故発生によるけがのおそれがあります。

USBコネクタ

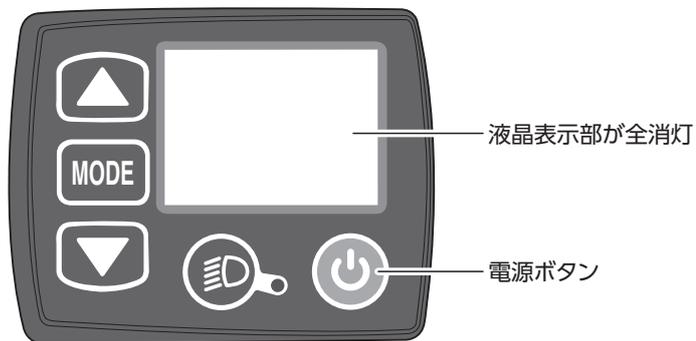
バッテリー側面には、USB コネクタが装備されています。

緊急時には携帯電話などの充電に利用できます。

⚠ 注意

- USB ケーブルを接続する際は、コネクタに異物がないか確認してください。
コネクタに異物が挟まっていると充電できません。
- USB コネクタを使用しないときは、必ず保護キャップをしてください。
水が浸入して USB 端子がさびると、充電できなくなります。
- USB コネクタのキャップを強い力で引っ張らないでください。
キャップが破損するおそれがあります。
- USB ケーブル等を接続したまま走行しないでください。
巻き込みなどの事故や故障のおそれがあります。

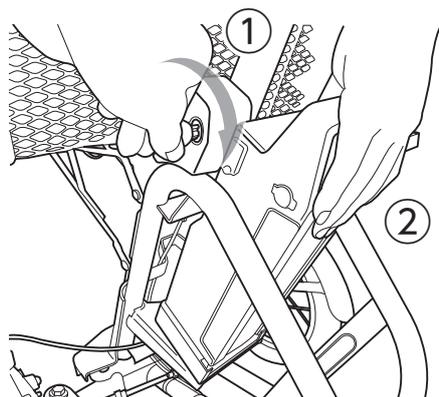
1. 電源を OFF にする



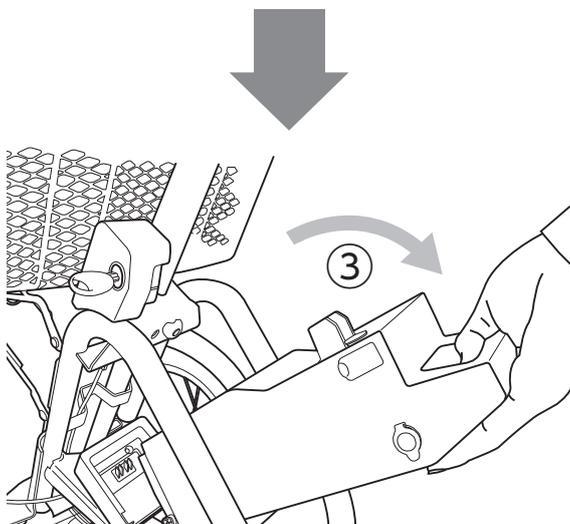
※必ず電源を OFF してください。バッテリー故障の原因となります。

2. バッテリーロックを外し、バッテリーを取り外す

※バッテリーを本体に装着したままでも充電できます。その場合パーキングブレーキをかけ (P29 参照)、動かない状態にしたままで充電してください。
なお、バッテリーの充電中は本製品を使用できません。

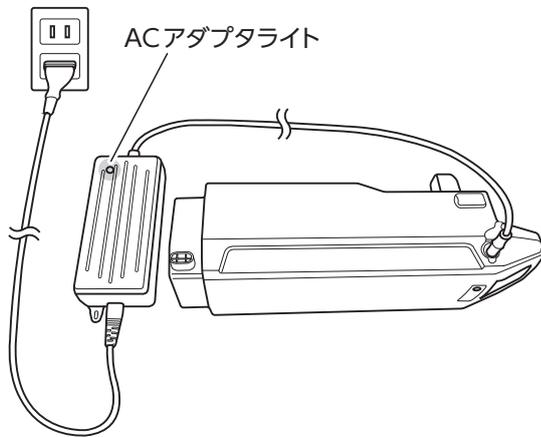


- ① バッテリーロックにキーを差し込みます。
- ② 右手でバッテリーを支えながら、キーを右に回してロックを解除し、バッテリーを傾けます。



- ③ バッテリーを傾けた状態で、両手で支えながら、引きだします。
- ④ キーは抜いて保管してください。

3. バッテリーの充電方法



- ①充電器のプラグをコンセント(100V)に差し込みます。
 - ②バッテリーに充電器の端子をしっかりと差し込みます。
- 充電完了後は、上記②①の順で取り外してください。

●ACアダプタライト色

青色：待機状態、及び充電完了状態です。充電する時以外は電源から抜いてください。

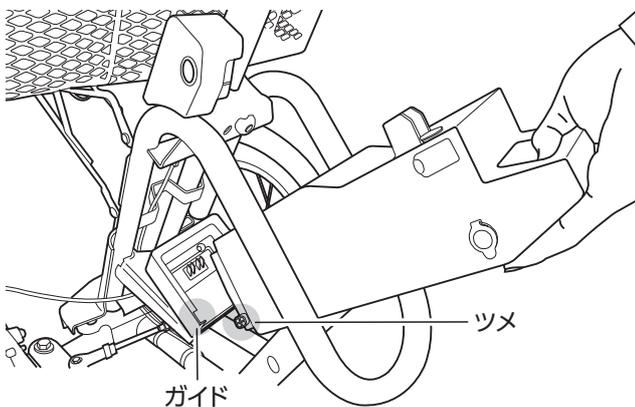
赤色：充電中です。

※充電が十分されていると、ACアダプタの端子を差し込んでも充電は開始されません。また、充電が完了すると一瞬だけランプが緑色になります。

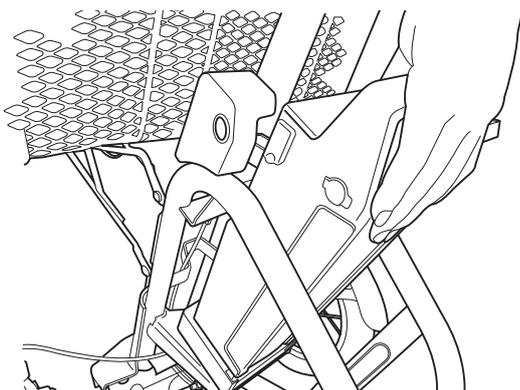
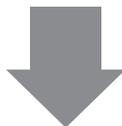
⚠ 注意

- 雷が鳴っているときは充電を中止し、プラグを抜いてください。落雷により故障するおそれがあります。

4. バッテリーを本体に取り付ける

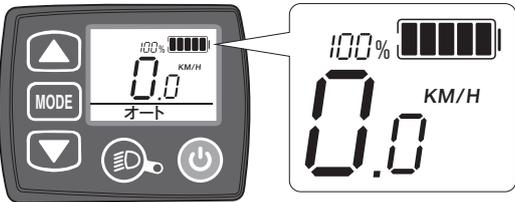
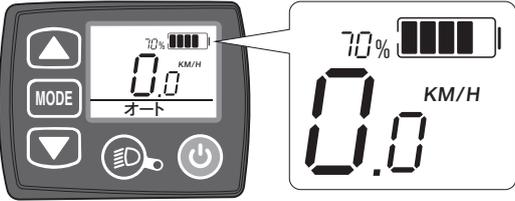
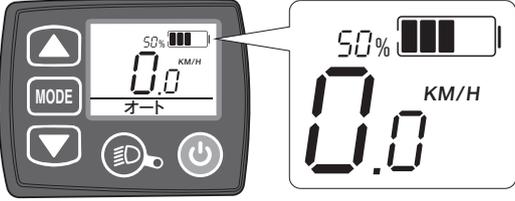
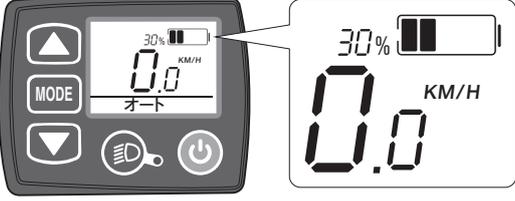
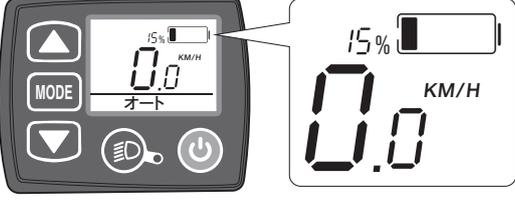
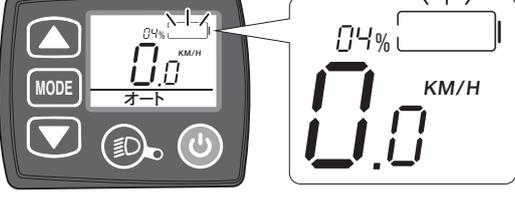


- ①バッテリーの接続部にゴミなどが付着していないことを確認します。
- ②バッテリーの2箇所のツメを車体のガイドに沿わせ、いっぱいまで差し込みます。



- ③差し込んだ後、ツメを基点にバッテリーを起こして「カチッ」と音がするまで押し込みます。
- ④装着後バッテリーを手前に引いて、確実にロックされていることを確認してください。

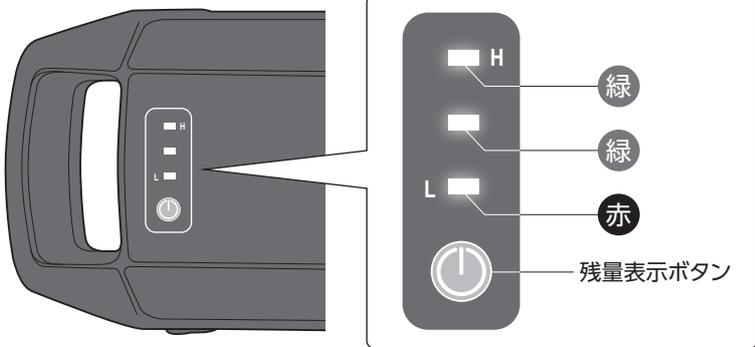
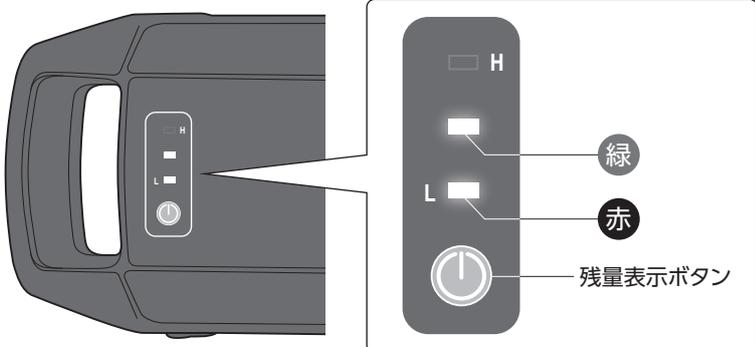
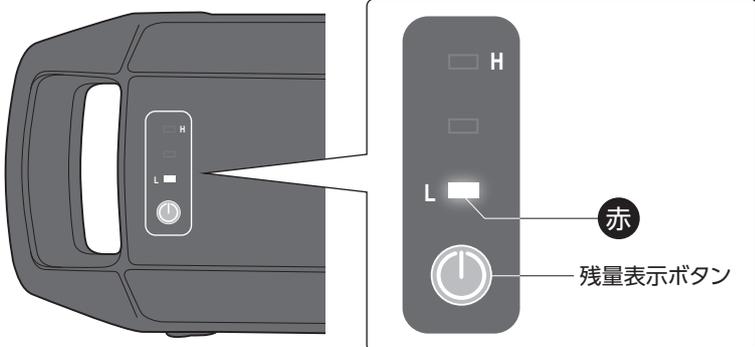
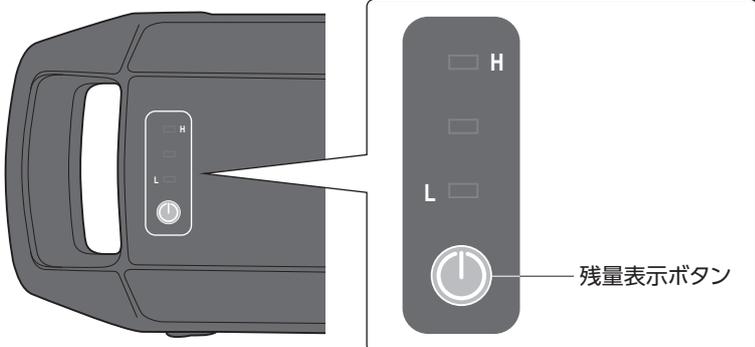
メインスイッチのバッテリー残量表示の目安

メインスイッチのバッテリー残量表示	バッテリー残量 (%)	目安
	80%以上	<p>アシスト走行できます 満充電からスイッチの電源を入れて走行すると、1灯ずつ点灯数が減ります。 バッテリー残量が20%以上でも、走行状態によってはアシスト力の低下を感じる場合があります。</p>
	80%未満 60%以上	
	60%未満 40%以上	
	40%未満 20%以上	
	20%未満 10%以上	
	10%未満 5%以上	
	5%未満	

● 走行前に、バッテリーの残量と目的地までの距離をよく確認してください。

バッテリーのバッテリー残量ランプの目安

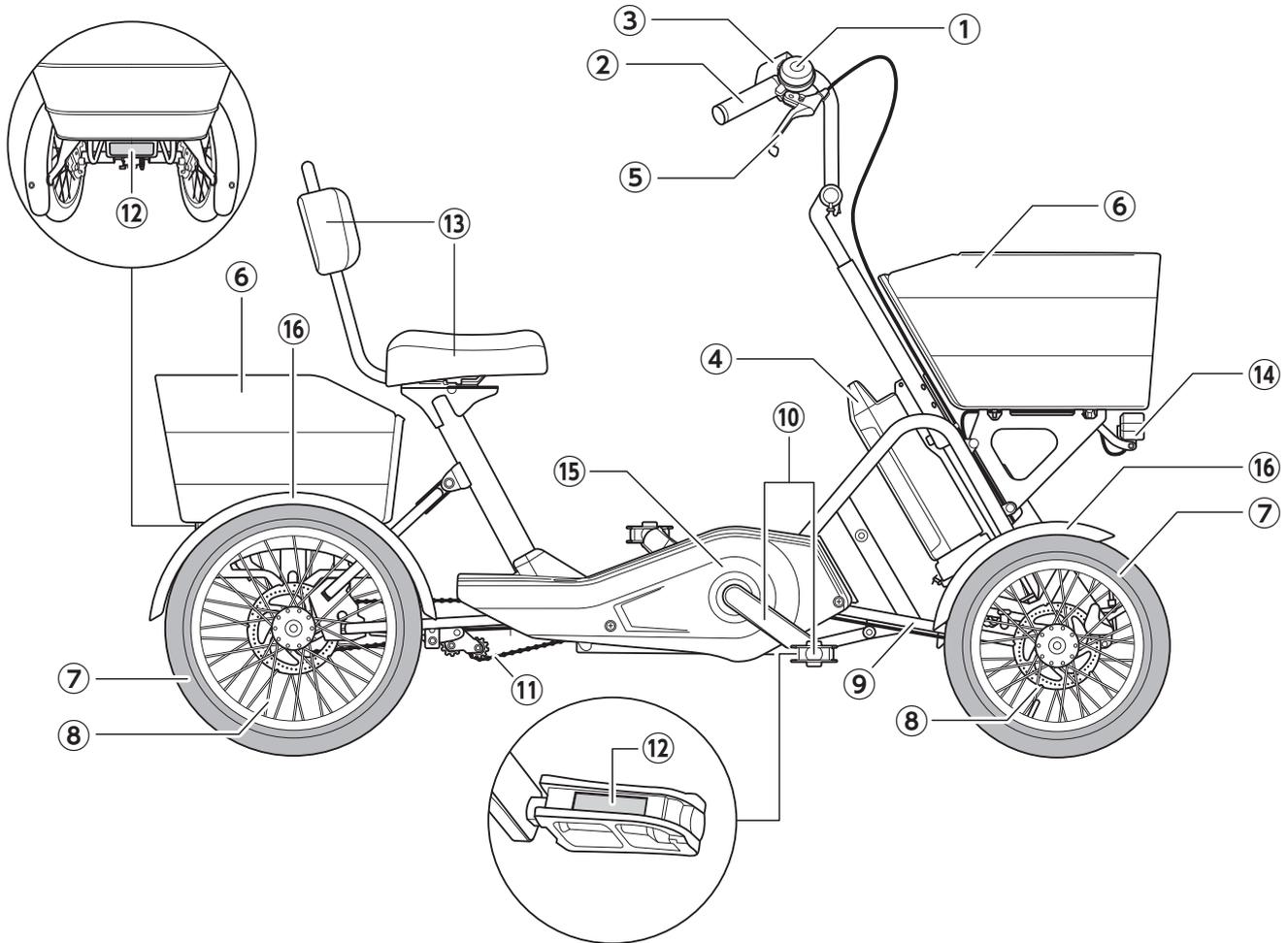
※バッテリーの残量表示ボタンを押し続けると残量を確認できます。

バッテリー残量表示ランプの状態	表示ランプ点灯数	バッテリー残量 (%)
	3つ全て点灯	60% 以上
	2つ点灯	60% 未満 20% 以上
	1つ点灯	20% 未満 5% 以上
	点灯無し	5% 未満

ご注意

- バッテリーを使い切ってしまうと充電できなくなるおそれがあります。余裕をもって充電するようにしてください。

点検リスト



No.	点検項目
①	ベルの状態
②	ハンドルの状態
③	バッテリーの残量
④	バッテリーの取付状態
⑤	ブレーキの状態
⑥	前後キャリア・バスケットの状態
⑦	前後タイヤの状態
⑧	前後輪とスポークの状態
⑨	フレーム・ステアリングの状態
⑩	ペダル・クランクの状態
⑪	チェーンの状態

No.	点検項目
⑫	リフレクターの状態
⑬	シートの状態
⑭	ヘッドライトの状態
⑮	アシストユニットの状態
⑯	フェンダーの状態

重要

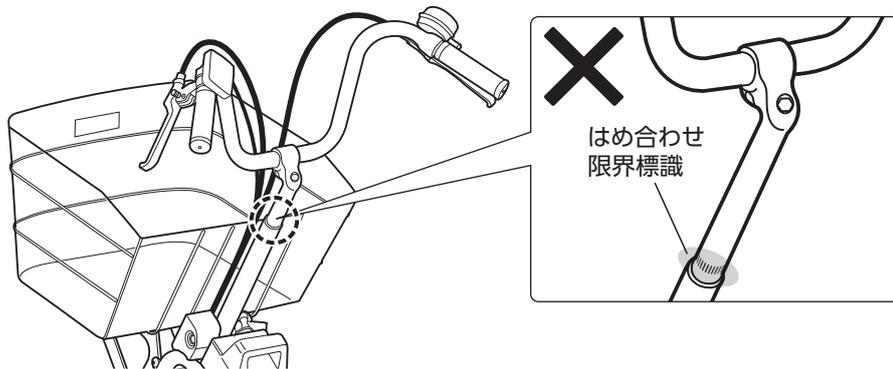
メインスイッチの電源を OFF にした状態で点検を行ってください。

1. ベルの状態

- ベルがハンドルにしっかりと取付けられているか?
- 正常に鳴るか?
- レバーがスムーズに動くか?

2. ハンドルの状態

- ひび割れは無いかな?
- 抜けは無いかな?
- ハンドルの固定は確実かな?
- はめ合わせ限界標識が見えていないかな?



3. バッテリーの残量

- お出かけになる走行距離に対して、バッテリー残量は十分か?

前項の「バッテリー残量について」をご参照ください。

バッテリー残量が 5% 未満になるとアシストは利かなくなりますが、普通の自転車として走行することが出来ます。

4. バッテリーの取付状態

- バッテリーが本体にしっかりと固定されているか?
- バッテリーロックからキーを抜き忘れていないか?
- バッテリーのケースにひび割れや曲がりはないか?
- バッテリーの端子部が汚れていないか?

重要 メインスイッチの電源を OFF した状態で点検を行ってください。

5. ブレーキの状態

ブレーキレバー〈左・右〉

- レバーがハンドルにしっかりと取付けられているか?
- ブレーキワイヤーのさび・ほつれ・折れは無いかな?
- ブレーキの利きは良いかな?
- 操作したときに動作は円滑かな?
- ブレーキレバーを握った時に、レバーとグリップの間が約 1/2 の距離にあるかな?

ブレーキ〈前・後〉

- ブレーキをかけていないとき、車輪の回転が重くないかな?
- ブレーキパッドはすり減っていないかな?
- ブレーキパッドとディスク周辺に異物は付いていないかな?
- ブレーキとディスクの取り付け部に緩み、がたつきが無いかな?
- 左右のブレーキを握って、前後に動かないかな?
- パーキングブレーキをかけたとき、前後ともしっかりとブレーキが利いているかな?
- ブレーキをかけたとき、異音はしないかな?



- 異常が認められる場合はすぐに使用をやめ、販売店にご相談ください。

6. 前後キャリア・バスケットの状態

がたつきは無いかな?

7. 前後タイヤの状態

空気圧は適正かな?

〈適正空気圧〉

- 前輪：250kPa (2.5kgf/ cm²、2.5bar)
- 後輪：300kPa (3.0kgf/ cm²、3.0bar)

タイヤに摩耗・切傷は無いかな?

車輪の固定は確実かな?

タイヤに異物は付いていないかな?

8. 前後輪とスポークの状態

前後輪のがたつき、スポークの折損や変形などはないかな?

9. フレーム・ステアリングの状態

ひび割れや変形はないかな?

ワイヤー類が巻き付いていないかな?

10. ペダル・クランクの状態

がたつきはないかな?

ひび割れや曲がりはないかな?

11. チェーンの状態

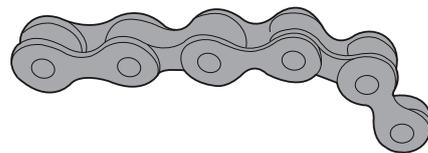
油切れがなく、ペダルを手で動かしたときに滑らかに動くかな?

小石などの異物がはさまっていないかな?

たるみ具合は適正かな?

歯飛びや異常な音 (バリバリ音など) はないかな?

さびていないかな?



警告

- チェーンのたるみが大きくなると外れやすくなり危険なので、速やかに販売店で調整を受けてください。

重要 メインスイッチの電源を OFF した状態で点検を行ってください。

12. リフレクターの状態

リフレクターに汚れや破損は無いかな？

13. シートの状態

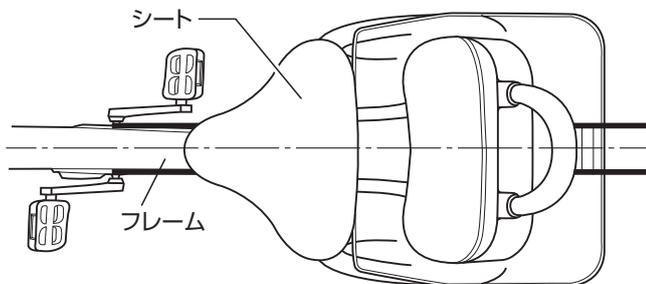
シートの固定は確実かな？

シートがフレームと平行になっているかな？

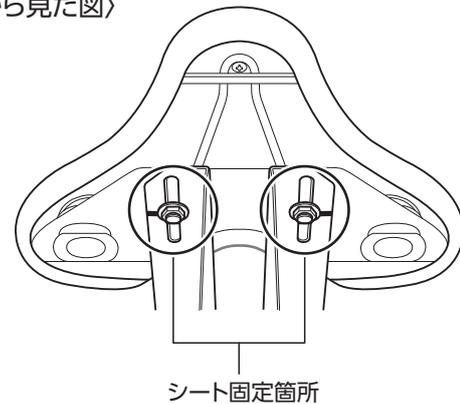
● シートの前後位置調整

シートは 60mm の調整範囲内で前後方向に調整できます。
体格に合わせて運転や操作のしやすい位置に調整してください。

〈上から見た図〉



〈下から見た図〉



- シートは 2 個のナットで固定されています。
- 調整時はシートが斜めにならないようにしてください。
- シート位置の調整は、販売店にお申し付けください。
※出荷時は、最後部にセットしてあります。

14. ヘッドライトの状態

- 点灯するか？
- 取付角度は適切か？
- 割れやがたつき、汚れはないか？
- コードにたるみ、断線、損傷はないか？



前方の路面を照らすように取り付ける

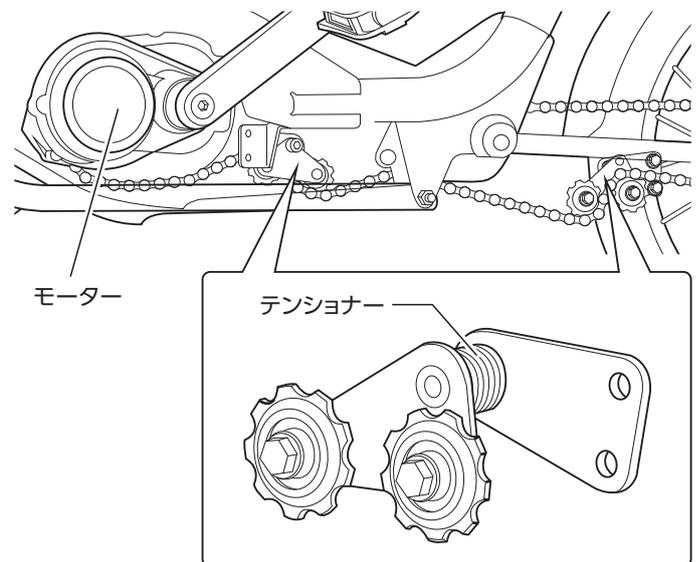
15. アシストユニットの状態

電源を入れたときに

- 異音や煙や異臭などはしていないか？
- モーター部や底部が高温になっていないか？

ペダルに力を加えてみて

- アシストユニットがフレームに対してがたついていないか？
- テンショナーは円滑に動作するか？



⚠ 注意

- アシストユニットの分解などは絶対に行わないでください。
- 異常が認められる場合はすぐに使用をやめ、販売店にご相談ください。

16. フェンダーの状態

- がたつきや外れは無いかな？
- タイヤに当たっていないか？
- 曲がりはないか？

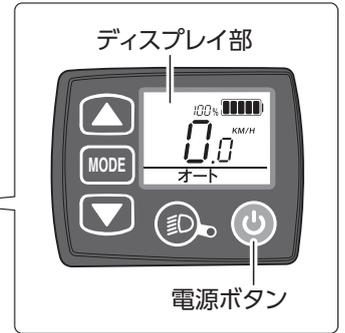
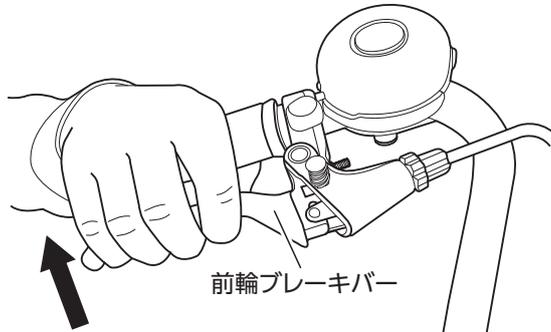
最大積載重量	前バスケット	8kg まで (バスケット容量 29L)
	後バスケット	18kg まで (バスケット容量 29L)
積載物の大きさ限度	前バスケット	高さ・前後・左右ともに、バスケットからはみ出さないこと。
	後バスケット	高さ 50 cm以下で、前後左右はバスケットからはみ出さないこと。

注意

- 人やペットなど、荷物以外は乗せないでください。
- チャイルドシートは取り付けできません。
- 荷物の積み過ぎは走行安定性を著しく低下させ危険です。また、はみ出した荷物は歩行者や自動車などに接触するおそれがあり危険です。
最大積載重量並びに最大積載総重量 (乗員と荷物の合計が 90kg) を超えないようにしてください。
また、積載物の大きさ限度を超えないようにしてください。
- 表記の積載条件の範囲内でも運転に不安があれば使用しないでください。

ペダルを踏まずに電源を入れる

- ①シートにまたがります。
- ②ブレーキレバーを握り込んでパーキングブレーキを解除します。



- ③ペダルに足をかけずに、メインスイッチの電源ボタンを長押しして電源を入れます。
- ④両足をペダルに乗せてゆっくり踏み込みます。

お願い

- 「8888」表示の間は駆動ユニットの初期化をしているので、ペダルを踏まないでください。
ペダルを踏みながら電源を入れると、ペダル入力小さい状態と誤検知され、走行時にアシスト力が弱くなります。(P33 参照)
- 電源ボタンを押しても手元スイッチの液晶表示部が点灯しないときは、バッテリーの充電や固定が確実にできているかを確認してください。
- 走行途中には電源を入れないでください。

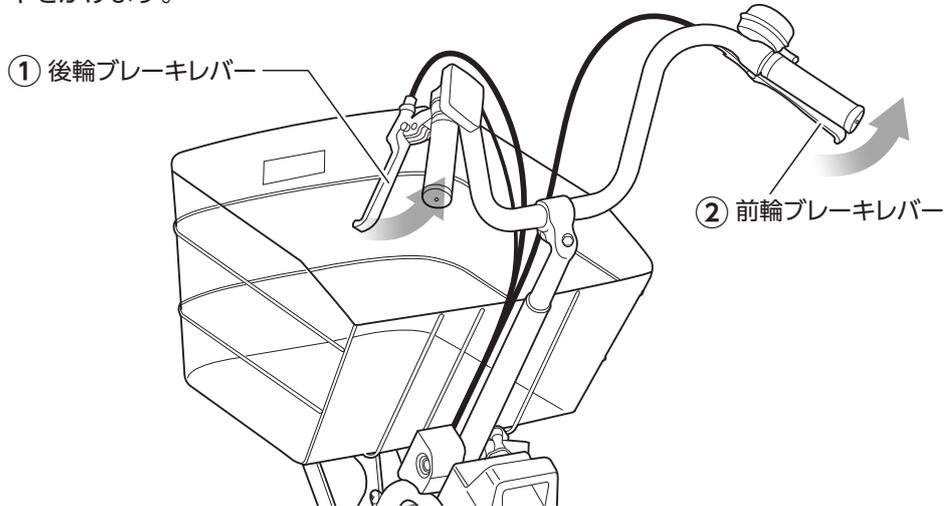


お知らせ

- 電源が入った状態で 15 分以上車両を放置すると、バッテリー消費を軽減するために自動的に電源が切れる機能を備えています (オートオフシステム)。
自動電源オフ機能が作動した後もメインスイッチの電源ボタンを押すと、再び電源が入ります。

ブレーキのかけかた

- ブレーキをかけるときは必ず前後ブレーキを併用し、後輪ブレーキを先にかけてから前輪ブレーキをかけます。



⚠ 注意

- 片側だけのブレーキ操作はしないでください。スリップして転倒によるけがのおそれがあります。
- 雨天時や下り坂ではスピードを出さないでください。制動距離が長くなったり、スリップしやすくなったりするため、衝突や転倒によるけがのおそれがあります。

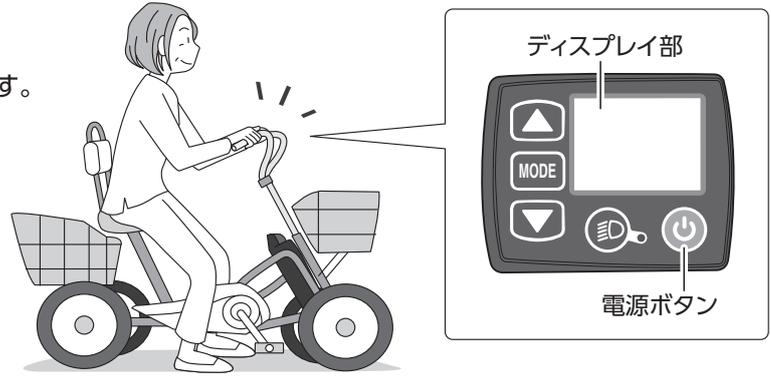
アシストの強さを変える

電源が入っていれば、「▲」「▼」のボタンを押したら、「パワー」・「オート」・「エコ」は切替ができます。

	<p>エコ</p>	<p>走行条件により、アシスト力を自動的にコントロールし、さらにアシスト力を抑えます。</p>
	<p>オート</p>	<p>走行条件により、アシスト力を自動的にコントロールします。</p>
	<p>パワー</p>	<p>常にパワフルなアシスト力で、坂道や重い荷物を積んでいるときでも快適な走行ができます。</p>

1. 自転車から降りるまえに、メインスイッチの電源を切る

- ①前後ブレーキをかけ、停止します。
- ②メインスイッチの電源ボタンを長押しします。
ディスプレイ部が消灯し、電源が OFF になります。

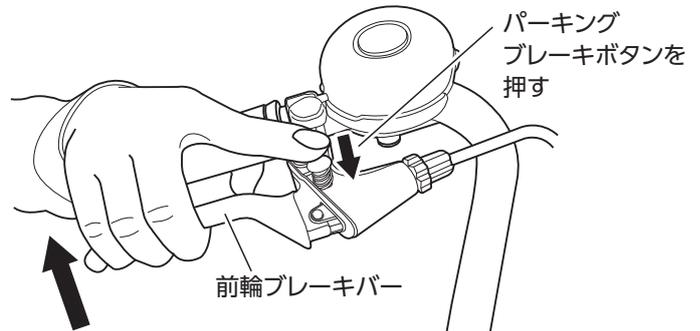


警告

- 不安定な場所への駐輪はしないでください。事故につながるおそれがあります。

2. パーキングブレーキをかける

- ③右ブレーキレバー（前ブレーキ）を握りながら
パーキングブレーキボタンを押し込みます。
 - ④左側も同様にパーキングブレーキをかけます。
- ※駐輪以外パーキングブレーキを使用しないでください。



★日常のお手入れ

- 高圧洗車は避けてください。塗装、メッキ類の損傷や取り付け部品の変形、損傷さらにアシストユニットが故障するおそれがあります。土や泥、ほこりなどは乾いた布やブラシ(金属ブラシは不可)で落としてください。
- 雨水にぬれた時は、乾いた布等で拭き取り、十分に乾燥させてください。その後、油(グリスの必要な箇所)を注油してください。(但し、ディスクブレーキ、パッド、タイヤへの注油は絶対に避けてください。)
- 油は自転車用、キー穴には鍵穴用のものを使用してください。
また、P31【注油場所】で示す箇所に注油してください。
- フレーム等は、汚れを落とした後ワックスをかけ、乾いた布で良く拭き取ってください。
- さびやすい環境での保管を余儀なくされている場合、こまめなお手入れをしてください。
- ディスクブレーキは、さび、汚れによりブレーキ鳴きを生じ易くなります。

ご注意

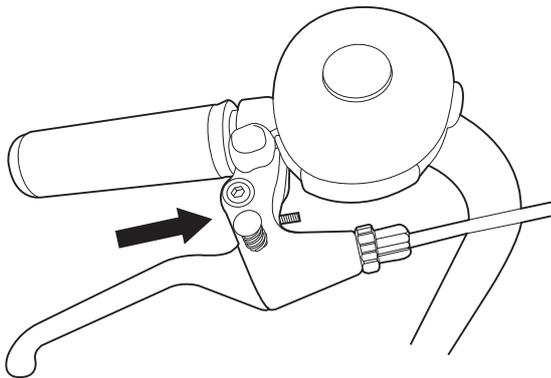
- 有機溶剤(シンナーなど)を使用するのは止めてください。
- プラスチック等の樹脂部品、タイヤなどのゴム部品にワックスや油をつけないでください。
- 回転部分でのケガ等に注意し、軍手等の着用と、服装の汚れにも注意してください。

警告

- ブレーキの制動面やタイヤ、リムなどに防錆剤やワックスなどの油脂類を付着させないでください。油脂類が付着するとブレーキが利かなくなり、衝突・けがのおそれがあります。

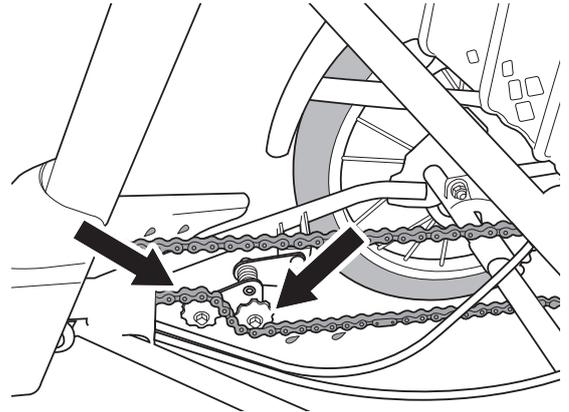
注油場所

ブレーキレバー〈左・右〉



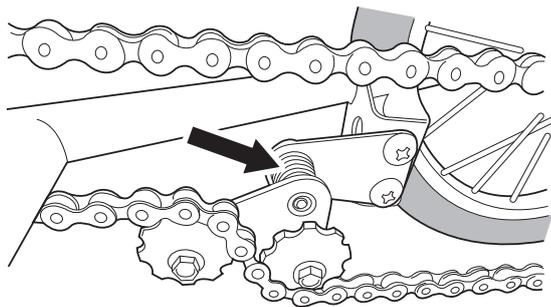
レバーの可動部に注油^(※1)

チェーン



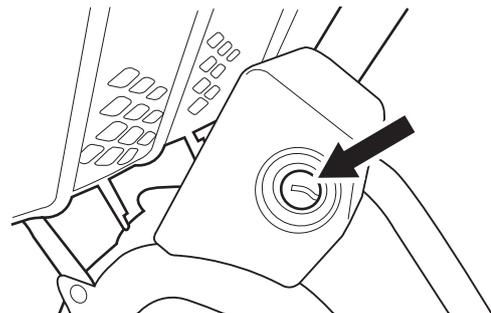
クランクを回しながら注油^(※1)
 (チェーンやギヤのさびつき、摩耗を防ぎます)
 余分な油は拭き取る(油汚れやほこりの付着を防ぎます)

テンショナー



テンショナーのバネ部に注油^(※1)

バッテリーロック



キー穴に注油^(※2)
 (さびによる動作不具合を防ぎます)

(※1) 自転車用のものを使用すること
 (※2) 鍵穴用のものを使用すること

 **警告**

- 自転車を運搬するときはバッテリーを外してください。自動車への積載時など、運搬の際に不意にペダルが押された場合にセンサーが感知し、車輪が回転し、巻き込まれてけがをするおそれがあります。
- シートを持ち上げて移動させないでください。シートが破損し、けがをするおそれがあります。

お知らせ

- リチウムイオンバッテリーは危険物のため、基本的には公共交通機関への持ち込みや飛行機や船での輸送は禁止されています。ただし、事業者によっては制限を設けた上で輸送（輸行）可能な場合があるため、事前に利用しようとする事業者にお問い合わせください。

1. 自転車の保管

- ① 雨ざらしは自転車、バッテリーに様々な問題を起こします。絶対にしないでください。
- ② 保管場所に屋根があっても、サイクルカバー等をご使用ください。
- ③ タイヤの空気は自然減少します。長期間使用されない場合はタイヤの劣化を抑えるため、適正空気圧まで入れた状態で保管してください。

2. バッテリーの保管

- ① バッテリーは 15℃から 25℃程度の室内で保管してください。
- ② 冬季は一回の充電での走行距離が短くなります。また夏季に高温になる場所で保管をされると、著しくバッテリーの寿命が短くなるおそれがあります。
- ③ 1ヶ月以上使用しないときは、残量を半分ほど残した状態で気温変化の少ない室内で保管してください。一定期間使用しないと保護機能が働き、電源が入らなくなる場合があります。保護機能はバッテリーを充電することで解除されます。

 **注意**

- バッテリー残量が空の状態でも長く保管された場合は正常に充電が出来なくなり、寿命を大幅に縮めます。

- 自転車・充電器を廃棄するときは、お住まいの地域のルールに従ってください。
- 使用済みのリチウムイオンバッテリーは販売店にお持ち込みいただくか、リサイクル協力店にご相談ください（資源有効利用促進法に基づき、貴重な資源を守りましょう）。

こんなときは		確認してください	対処方法
乗車時	ペダルが重い	操作スイッチの表示ランプが点灯していますか？	操作スイッチ「入」を押してください。
		バッテリーが取付けられていますか？	バッテリーを取付けてください。
		バッテリーが確実にロックされていますか？	バッテリーを確実にロックしてください。
		充電されていますか？	充電してください。
		操作スイッチを「入」にしてから15分以上踏む力をかけない状態が続いていませんか？	オートオフ機能が作動しました。操作スイッチの「入」ボタンをもう一度押してください。
		ペダルを踏みながら操作スイッチを「入」にしませんでしたか？	操作スイッチをいったん「切」にし、ペダルを踏まないでもう一度「入」にしてください。
	ペダルに振動を感じる	ペダルに足を乗せた状態で停止、またはスタート時に発生していますか？	モーターの特性です。故障ではありません。
		通常走行時に発生しますか？	踏力センサなどのコード断線が考えられます。販売店に修理を依頼してください。
	操作スイッチの表示が点滅している	バッテリー残量表示が点滅していますか？	バッテリーの残量がほとんど無くなっています。すぐに充電をしてください。
		上記以外のパターンで点滅していますか？	販売店にご連絡ください。
	走行距離が短い	充電されていますか？	充電してください。
		バッテリーを長期間使用せずに、放置していませんか？	充電してください。充電が完了したバッテリーでも、長期間使用しなかった場合には自然に放電してしまうため、残量が少なくなっていることがあります。
		坂道の連続走行や、悪路などの過酷な走行をしていませんか？	道路条件等により走行距離が短くなります。
		気温は低くないですか？	冬季や寒冷地においてはバッテリーが冷えるためバッテリーの特性上容量が低下したり、走行距離が短くなります。
		気温は高くないですか？	高温下で放置した場合は、バッテリーの残量が減少することがあります。
		バッテリーの接点に異物が付着していたり、汚れていませんか？	異物が付着している場合は取り除いてください。汚れている場合は乾いた布で清掃してください。
		使い込んだバッテリーを使用していませんか？	バッテリーの寿命と思われます。バッテリーを交換してください。
		タイヤの空気圧は正常ですか？	空気を入れてください。
ブレーキの調整は正しくできていますか？		ブレーキの調整をしてください。	

こんなときは		確認してください	対処方法
充電時	充電しない	電源プラグや充電プラグが接続されていますか?	「電源プラグとコンセント」、「充電端子と充電コネクタ」を正しく接続してください。
	充電しない (赤色点灯をしている)	バッテリーが熱くなっていたり、冷たくなっていたりしていませんか?	バッテリーが熱い場合 (45℃以上) や冷たい場合 (0℃以下) は、バッテリーの温度が適正温度になるまで充電待機します。異常ではありません。
		長期間バッテリーを放置していませんか?	長期間バッテリーを放置して充電を忘れていた場合は、バッテリー電圧の下がりすぎが考えられます。予備充電が行なわれ、電圧が回復すると通常の充電が開始されます。
		上記以外の場合	適正温度下でしばらく (5時間程度) おいても充電を開始しない場合は、充電器やバッテリーの異常のおそれがあります。販売店に修理を依頼してください。
	バッテリーや充電器が熱くなる	手で触れられる (40℃~60℃) 温度ですか?	充電中や使用中、充電直後や使用直後に温かくなっているのは異常ではありません。
		手で触れられないほど熱いですか?	ただちに使用を中止し、販売店へ連絡してください。
	充電器から異臭や煙が出ている	—	ただちに使用を中止し、販売店へ連絡してください。
	充電を始めても赤点灯しない	—	ただちに使用を中止し、販売店へ連絡してください。

充電式リチウムイオンバッテリーは、小形・軽量で、大容量の電気を蓄えることができる高性能バッテリーですが、以下のような特徴があります。

1 気温の寒暖に敏感です

- 夏の気温の高い時期には、バッテリーの温度が上がり易くなります。この時、アシスト力が低下することがありますが、温度が適温まで下がれば回復します。また、充電の際も、高温状態のままですとバッテリー保護機能が働いて充電できないことがありますので、直射日光の当たらない涼しいところでの充電をお願いします。
- 寒い時期にはアシスト力の低下や、走行距離の短縮が起こりやすくなりますが、適温になれば回復します

2 自然放電します

- バッテリーは、使用しなくても自然に放電します。これは、使用前に充電を行えば回復します。

3 劣化します

- 充電と放電の繰り返し使用によるサイクル劣化は、内部抵抗の増加や反応の回復低下が起こって、出力できる容量が低下するもので避けられないものです。少しでも劣化を遅らせるには、大きな電流を必要とする急坂の登坂や、重い荷物を積んだ走行、タイヤの空気圧が低いままでの走行などを続けないようにすることを心掛けてください。
- 時間の経過とともに生じる経時劣化は、バッテリーを使用せず保管している時にごくわずかずつですが出力できる容量が低下するもので、これも避けられないものです。

4 バッテリーの交換時期について

- 通常、500 回程度(*)の充放電ができます。1日に1回として、約1.5年の寿命が見込まれますが、使用環境や走行の仕方によって長短の差が出ます。
- バッテリーの劣化が進み、1充電当たりの走行距離が著しく短くなり、回復の見込みが無くなった時はバッテリーの交換をお勧めします。

*バッテリーが使えなくなったときは、取扱店で交換を行ってください。(交換は有料)

*使用済みのバッテリーは貴重な資源となりますので破棄しないでリサイクルにご協力ください。

5 バッテリーを長持ちさせるには

- ① 高温のところに置かない。
 - 直射日光の当たる場所、炎天下の車中、暖房器具の側等での保管を避けてください。
- ② 高温下で充電をしない。
 - バッテリーの温度が高い場合、バッテリーを保護するため自動的に充電を中断することがあります。涼しい所で温度が適温まで低下すれば充電が再開されます。
- ③ 満充電の状態でも繰り返し充電しない。
満充電の状態での充電は、バッテリーの経時劣化が大きくなります。
- ④ 長期間(1ヶ月以上)乗らない時は、バッテリー容量が残っている状態(50%前後程度の残量を推奨)で涼しい場所で保管してください。
使用再開時に充電すれば元の状態で使用できます。残量表示ゼロでの長期放置は、再充電が出来なくなります。

6 バッテリーの保証

- バッテリーは消耗品です。品質保証期間内であっても保証されません。

主要諸元

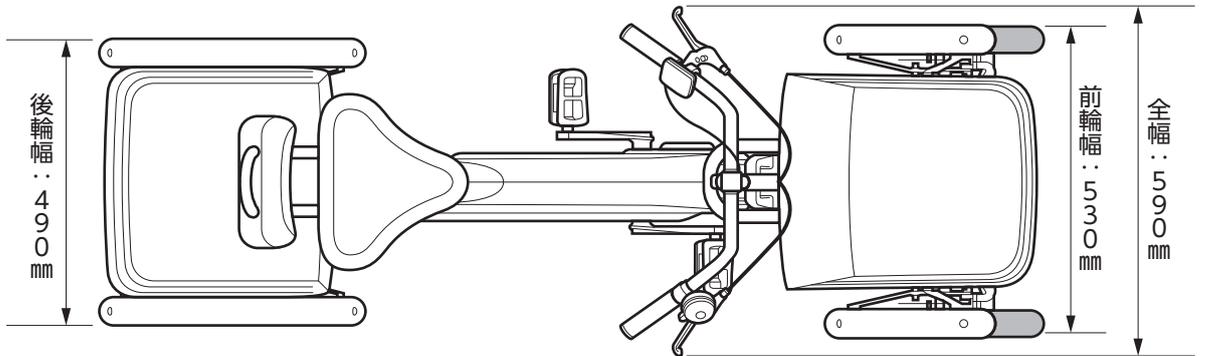
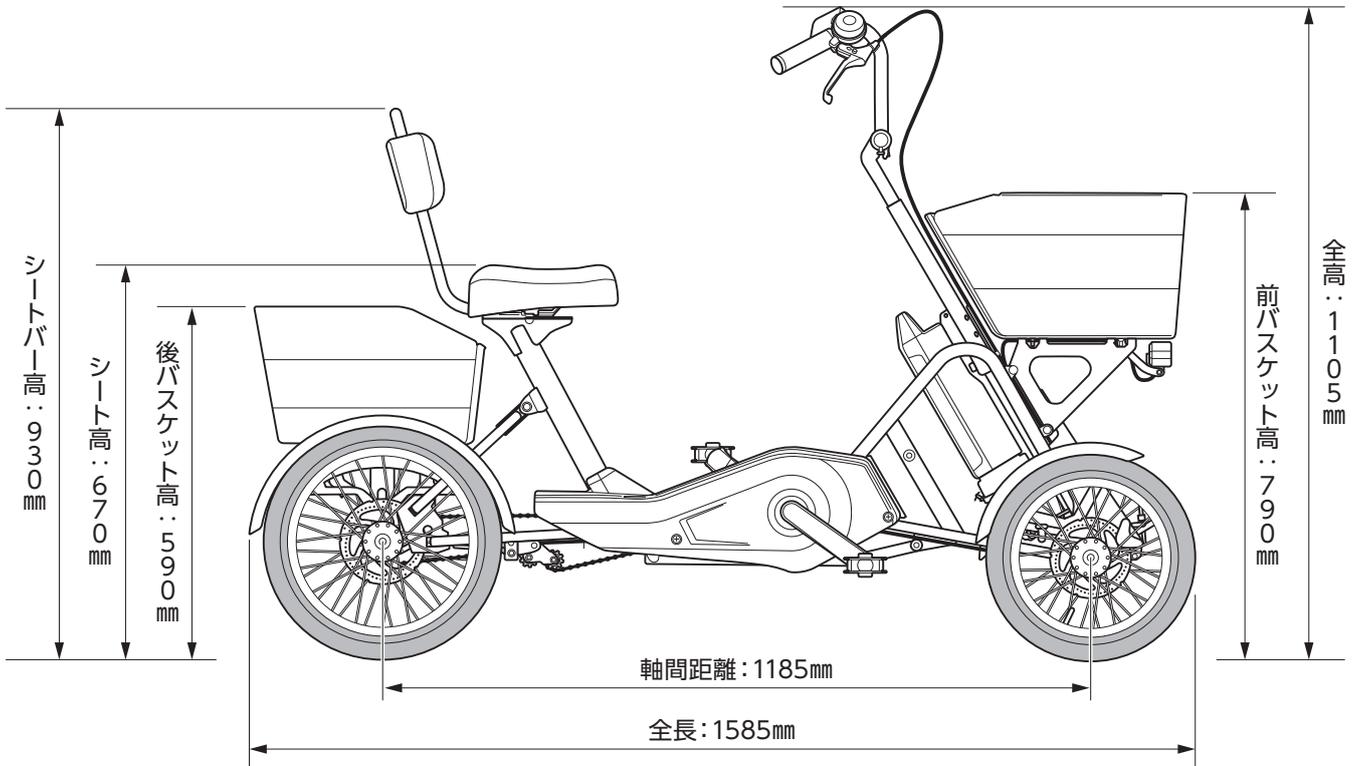
諸元		名称	遊歩リベルタ
		型式	SC-01
寸法	全長		1,585mm
	全幅		590mm
	シート高		670mm
	軸間距離		1,185mm
	タイヤサイズ		前輪：14" X 1.95 後輪：16" X 1.75
車両重量			40.5kg ^(※1)
性能	補助速度範囲	比例補助	0～10km/h
		逡減補助	10～24km/h
	満充電後の走行距離		42km ^(※2)
電動機	形式		直流ブラシレスモーター
	定格出力		250W
補助力制御方式			踏力比例制御
蓄電池	形式		充電式リチウムイオンバッテリー
	容量		353Wh (37V-9.54Ah)
充電器	形式		HP1202L3 (2A) 36V 2A
	消費電力		120VA
	充電時間		約4時間
駆動方式			クランク軸上合力発生一体型
制動装置		前	ディスクブレーキ
		後	ディスクブレーキ

※1 バッテリー含む

※2 走行条件は下記の通り

平坦路定速 (8km/h) 走行、乗員+荷物の合計重量 65kg、乾燥路面、気温 20℃、ヘッドライト消灯、空気圧は標準

寸法



品質保証書

正規取扱店を通して新品でお買い上げいただきました本製品に万一不具合が発生したときは、この保証書にしたがって次の通り保証いたします。

1. 保証の内容

お買い上げいただいた本製品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、この保証書に示す期間と条件に従って無料で修理いたします。(以下、この無料修理を保証修理といいます)保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。その際、取り外した部品は、弊社の所有となりますことをご了承ください。なお、モデルチェンジ等でやむをえず同等品交換となる場合もございます。

2. 保証期間

保証修理を受けられる期間は、納入日より1年間です。

3. 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、お買い上げいただいた販売店へ、製品とこの保証書をお持ちいただき、保証修理をお申し付けください。なお、出張修理をご利用の際は別途出張費用をいただく場合がございますので事前に販売店にご確認ください。保証書が提示されない場合は、保証修理をいたしかねます。また、本保証書は国内で使用される製品のみ適用され、国外に持ち出された時点で保証は打ち切りとなります。

4. 保証できない事項

- ・ 正規取扱店以外で購入された商品、または部品
- ・ 部品の紛失、いたずら等による破損、及び盗難
- ・ レンタル等不特定多数が使用する場合
- ・ 経時劣化により発生する不具合(塗装面やプラスチック部品の自然退色、メッキ面の錆、破損など)
- ・ 機能上影響のない感覚的現象(音、振動、オイルのにじみなど)
- ・ 台風、水害などの天災、または人災による不具合
- ・ 雨天に放置したことによる電気系統の不具合
- ・ 弊社純正または弊社の指定する以外の部品、油脂類、その他の使用
- ・ 取扱説明書、製品ラベル等の指示に反する使用
- ・ 取扱説明書、製品ラベル等が示す仕様を超える使用
- ・ 取扱、保守、整備もしくは保管方法、保管場所の誤り、不備
- ・ 転倒、衝突、縁石等への乗り上げ、溝などへの落下によって生じたもの
- ・ 法令の認めていない改造、部品の取付け、または使用
- ・ 初回点検、定期点検を実施していない場合

5. 保証対象外部品について

タイヤ、チューブ、スポーク、ニップル、グリップ、ブレーキディスク、チェーン、バッテリー、キャップ類、ケーブル類、ボルト類、ナット類、スプリング類、ベアリング類等の消耗部品は保証期間内であっても対象外となります。(但し、当社が保証期間と認めたものは除く)

お客様へのお願い

- 保証書の再発行はいたしませんので、大切に保管してください。
- 保証書の提示がない場合は、有償となることがあります。
- お客様「住所、氏名」および「車体番号、購入日」は、恐れ入りますが、お客様にて記入していただきますようお願いいたします。

※車体番号表示場所は、取扱説明書 14 ページを参照してください。

お客様住所	〒
電話	
お客様氏名	フリガナ
型式	SC-01
車体番号	
購入日	西暦 年 月 日

販売店名	
販売店住所	〒
電話	

本製品についてのお問い合わせ・ご相談等がありましたら、お買い上げの販売店までお願いいたします。

serio セリオ

製造元

株式会社 セリオ

TEL.053-488-9902 FAX.053-488-9903

受付時間／9:00～17:00（土日祝を除く）

〒433-8104 静岡県浜松市中央区東三方町258-1